

小学生高等学年・中学・高校生向け交通安全講習用ビデオ

推薦：財団法人 全日本交通安全協会

自分で守ろう自分の命 防ごう自転車事故



VHSビデオ 50,000円
DVD 60,000円
(16分)

自分で守ろう自分の命 防ごう自転車事故

自転車は、手軽で、そして、環境にやさしく健康にも役立つ乗り物として生活の中で幅広く活用されています。

しかし自転車の交通事故死や負傷者数は年々増加しています。特に自転車乗用中の負傷者数で最も多いのが19歳以下の青少年です。

また、歩行者とともに交通弱者といわれてきた自転車ですが、自転車が加害者となった交通事故も増加しています。

この作品は、小学校高学年の児童、中学・高校の生徒を主な対象にして自転車の交通ルール(道路交通法)や交通マナーを身に付けることが、運転者自身の安全を確保するとともに歩行者の安全を守ることにもつながることを理解させるために制作しました。

作品の内容

1.プロローグ 青少年やお年寄りの自転車事故の現場を積み重ね、自転車事故が増加していることを訴える。

2.どうして事故は起こったのか？(自転車事故のパターンと原因究明)

☆イラスト・危険な自転車運転は交通事故につながる事が多く、自分の命はもちろん人の命を脅かすことになることを訴える。

☆実際の自転車事故

□信号のある交差点～横断歩道を自転車で渡っている小学5年生に右折車が衝突。右折車の安全不確認が原因。

□信号のない交差点～横断歩道を自転車で渡っている高校1年生が下り坂を走るスクーターに衝突。これもスクーターの安全不確認が原因。

□信号のない交差点～渋滞中の優先道路に一時停止無視で自転車の小学4年生が進入し、衝突した自転車と車の出会い頭の事故。自転車の過失が原因。

□信号のない交差点～夜間、高校3年生の自転車と車の出会い頭の事故。この事故も自転車の一時不停止が原因。

□「信号無視」「一時不停止」「安全不確認」など交通ルールを無視した自転車事故が急増している。自転車は道路交通法で「車両」であり、自転車に乗ることは「運転」することである。だから、交通ル

ルを守らなければならない義務がある。

3.交通安全教室の様相

□ある小学校の交通安全教室の様相を紹介し、自転車は「すぐには止まらない」、「倒れやすい」、「発見されにくい」などの危険な性質があることを理解させる。

□児童へのインタビューで死角などについて考える。

4.自転車が加害者になる事故も急増している

□「歩道での人に衝突して重傷あるいは死亡させてしまう」など交通ルールや交通マナーの欠如が原因の事故が増えている。人にやさしい運転を考える。

□また、人を負傷させたり死亡させたりした場合の賠償問題も取り上げる。

□「TSマーク付帯保険」の紹介。

□迷惑駐輪の危険性を紹介。

5.安全な自転車運転を

□さまざまな模範運転を紹介し交通ルールを守ることや交通マナーを身に付けることを訴える。

6.エピローグ

□自転車は車やオートバイなどと同じ「車両」の仲間であり、自転車に乗る場合は「運転者」の意識を持つことが大切である。

取扱:



有限
会社

博映商事

〒810-0073 福岡市中央区舞鶴1丁目3番31

TEL. (092) 741-0306

FAX. (092) 741-6628